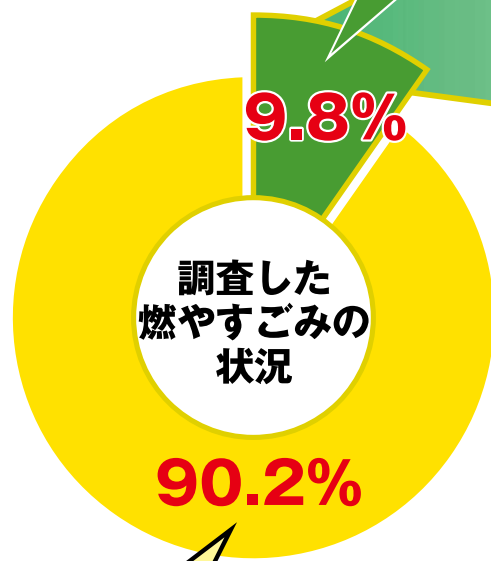


令和4年度 飯田市「燃やすごみ」組成調査の結果

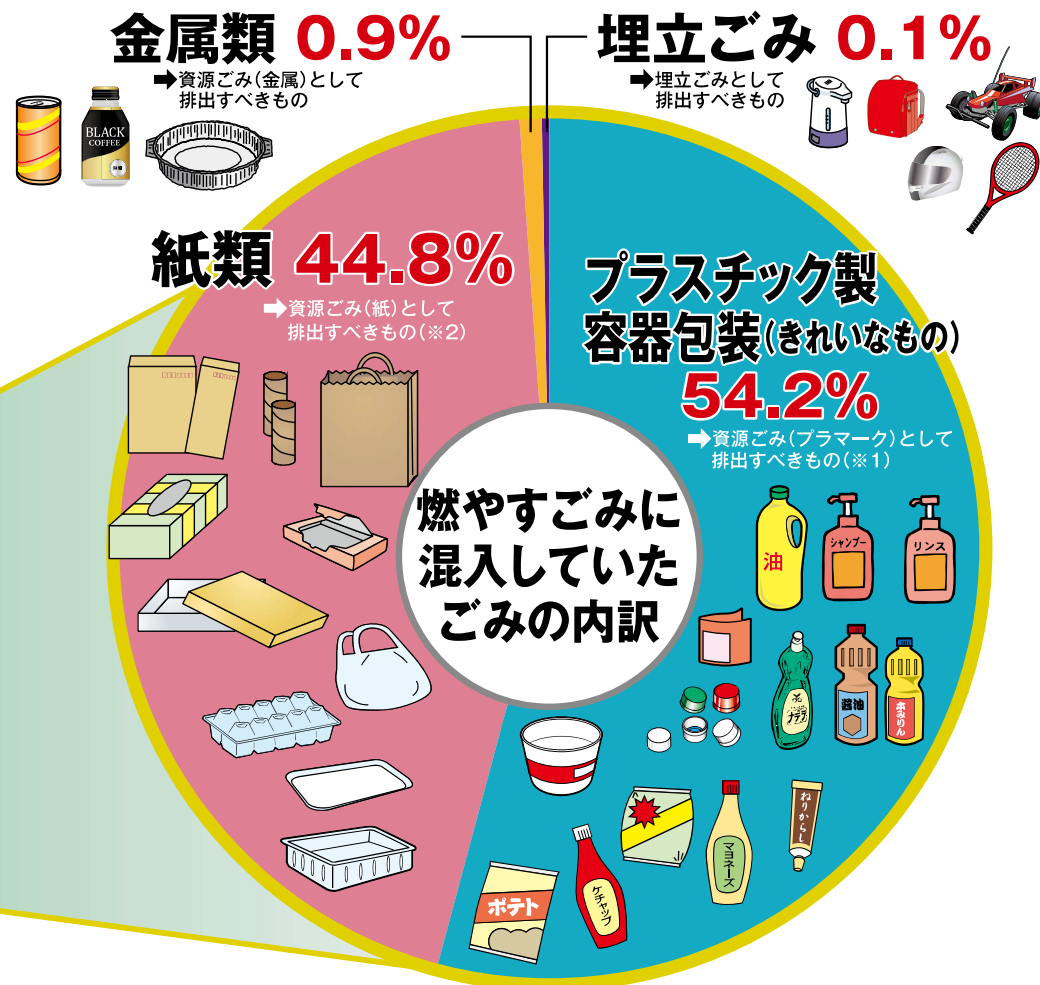
令和4年5月23日、7月14日、9月5日に、「燃やすごみ」の組成調査を実施しました。市内のごみ集積所から調査目的で無作為に回収した燃やすごみ(各回5袋)の分別状況を確認しました。

「燃やすごみ以外のごみ」の混入割合は、前年度と比べて3.2ポイント増加し、全体の9.8%となっています。

正しく分別されず、燃やすごみに
混入していたごみの割合



正しく分別されていた
燃やすごみの割合(※3)



特に多く混入していたごみの正しい出し方

※1 プラスチック製容器包装(きれいなもの)やペットボトル

→コンビニ弁当容器、洗剤等の空き容器などは水でゆすぎ、汚れを落としてプラ資源(プラスチック製容器包装)の袋へ入れて排出してください。
ペットボトルは、土曜日に市内各地で開催しているリサイクルステーションで回収をしています。キャップとラベルを取り、中をゆすいでから持ち込んでください。

※2 紙類(ティッシュ、お菓子の空き箱、紙袋など)

→ティッシュ、お菓子の空き箱、紙袋などは、雑誌やチラシなどと一緒に、ひもで十字にしばって資源ごみ(紙)として排出してください。

生ごみの削減、食品ロスの削減にご協力ください



※3 今年度の調査では、燃やすごみの中で、生ごみや食品ロスが54.9%を占めました。生ごみ処理機やコンポストを活用すると、生ごみの削減に効果的です。
飯田市には生ごみ処理機購入に対する補助があり、補助金額は、機器購入に要した費用の1/2(上限30,000円)です。
申請方法等、詳細については飯田市HPをご覧ください。
また、今回の調査では、手つかずの納豆やこんにゃくなどの食品ロスがありました。食品の買い過ぎに注意して、食品ロスを削減しましょう。



「もったいない」の
気持ちを大切に